

花巻市石鳥谷地域協議会 平成 28 年度第 3 回会議 会議録

【日 時】 平成 29 年 1 月 30 日（月）午後 1 時 30 分～午後 4 時 10 分

【場 所】 石鳥谷総合支所 3 階 大会議室

【出席者】 出席委員：13 名

似内英悦、晴山美紀子、藤原美智子、伊藤浩司、伊藤昌明、藤原信雄、
熊谷秀夫、八重樫康治、藤澤信悦、佐藤芳彰、高橋公男、鎌田愛子、板垣武美
欠席委員：2 名

横田竜太、田中由一

市側出席者 10 名

総合政策部

八重樫部長、伊藤秘書政策課長、高橋同課長補佐、赤坂企画調整係長、
小原上席主任、平石主事

財務部契約管財課公共施設計画策定室

小原室長、藤原次長、瀬川主査、梅原上席主任

事務局出席者（石鳥谷総合支所）：9 名

藤原総合支所長、菅原地域振興課長、晴山市民サービス課長、藤井地域支援監、
畠山地域振興課長補佐、阿部同課長補佐、小原市民サービス課長補佐、
晴山地域づくり係長、伊藤地域づくり係主査

【意見聴取】

(1) 花巻市公共施設マネジメント計画（公共施設等総合管理計画）素案について

計画を策定するにあたって、人口減少に対応した検証に関する質問や、計画期間の
設定方法、施設使用料の見直しや財政計画についてなどの質問や意見が出された。

(2) 花巻市まちづくり総合計画第 2 期中期プラン素案について

素案についての概要や主要事業についての説明の後、委員よりさまざまな意見や質
問が出された。事業内容に関する意見等の他に、第 1 期中期プランと比較して修正点
などが確認できるような表現の仕方についての意見が出された。

【諮 問】

辺地総合整備計画について

花巻市長の代理として、八重樫総合政策部長から似内会長へ諮問書が手渡された。

【説 明】

辺地総合整備計画について

計画案についての説明後、質疑応答を行った。計画書（案）の具体的な事業内容や、
今後の諮問予定について質問があった。

【審 議】

辺地総合整備計画について

審議の結果、原案のとおり決定することとし、答申文については会長に一任すること
とした。

【その他】

次回会議開催について、年度内に開催予定がある旨の連絡があった。

【傍聴】

会議を傍聴した者 なし

※会議での発言等は別紙顛末のとおり

※会議における配布資料は以下のとおり

資料

- (1) 花巻市公共施設マネジメント計画（概要版）【基本方針編】 ※当日配布
- (2) 花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】（公共施設等総合管理計画）（素案）
- (3) 花巻市まちづくり総合計画第2期中期プラン（素案）
- (4) 辺地総合整備計画について

顛 末

○ 進行／菅原地域振興課長

1 開 会

菅原地域振興課長

本日は花巻市石鳥谷地域協議会にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。本日の会議には、田中由一委員から出席できない旨の連絡がございましたので、お知らせいたします。横田議員は、まだお見えになっていないようでございます。それではただ今から、平成28年度花巻市石鳥谷地域協議会第3回会議を開催いたします。

開会にあたりまして、似内会長からご挨拶をいただきます。

2 会長挨拶

似内会長

ご苦勞様でございます。足元が悪い中ご参加いただきました事に、心から感謝申し上げたいと思います。東京では、今日は10℃以上とものすごく暖かいという事ですが、今日の天候をみると湿気があって、まもなく春なのだな、節分が来るのだなと思うと、何か心がわくわくするような気がします。特にも、我ら北国に居る者にとっては、早く春が来ないかなと待ちわびるところでございますが、果たして今年の「たろし滝」はどのようなものでしょうか。大瀬川の会長さんもいらしていますので、あとで教えてください。いずれ、今年も何かと忙しい訳でございますが、何か世の中では、トランプ大統領が、だいぶ世の中で旋風を巻き起こしているようでございます。世界の超大国の国でも、民主主義という事である訳ですが、やはりアメリカ国民の中には、あのような考え方を持つ人が半数以上いる、だから大統領になったのだと言えなほどなと言う感じがいたします。色々な意見を出し合って、それぞれの立場で頑張っていただくというのが、本来の姿だと思います。私共は花巻市をどう思っているかというご意見を、それぞれの立場からお話しいただければ幸いです。

今日は、意見聴取が2件ございます。それから、諮問等が1件、併せて3件ほどの内容があるということであります。大体2時間位で終われば良いのかなという目論みをしておりますので、宜しく願いしたいと思っております。ご出席いただきましてことに感謝申し上げます、一言ご挨拶といたします。ありがとうございました。

(菅原地域振興課長による資料確認後、次第3の協議事項より似内会長が進行)

3 意見聴取

(1) 花巻市公共施設マネジメント計画（公共施設等総合管理計画）素案について

似内会長

それでは、次第に従いまして進めて参りたいと思います。3番目の意見聴取でございます。最初に「花巻市公共施設マネジメント計画（公共施設等総合管理計画）素案」につきまして、ご説明をお願いします。

資料に基づき説明（説明者：小原公共施設計画策定室長）

似内会長

ありがとうございました。具体的にご説明いただきました。各委員さん方には、事前に資料等が届いてあったと思いますので、目を通して頂いたと思います。それぞれご意見等ございましたらば、お聞かせいただきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

藤澤信悦委員

概要版の最初に、人口減少と人口構成の変化への対応が求められているという所があり、面白い内容だと思いました。これは、まちづくり総合計画の時に質問しても良いかと思いますが、人口につきましては、私の記憶に間違いがなければ、11月12日の岩手日日の記事に、花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催した中で、委員からは人口総数で判断するのではなく、世帯数や人口構成で見えていく必要があるのではという指摘があったと書いてあったと思います。今の説明の中では、人口構成については老年人口とか年少人口とありますが、世帯数で見ると何か新しい課題が見えたかどうかという事を教えていただければと思います。直接、公共施設に関わりありませんが、この概要版の一等最初に説明があったものから、是非お伺いしたいと思います。

小原公共施設計画策定室長

私共といたしましては、世帯数での調査等は行ってございません。

似内会長

他にありませんか。ワークショップあるいは、パブリックコメントも行っているようです。ワークショップではいろいろ意見も出たと聞いております。地域協議会としてのご意見がございましたらお出しいただきたいと思います。

板垣武美委員

意見を述べる前に、何点か質問をさせていただきます。私は今年度から地域協議会委員となっておりますが、公共施設総合管理計画について、これまでに何回か地域協議会に説明等があったのかという事を伺いたいです。次に質問したいのは、使用料の見直しについて挙げられておりますが、この見直しを具体的にどのように進めているのかを伺います。それから、施設カルテが計画書の中にありましたが、個別の施設のカルテをこれから作成するもの

なのか、もう現在作成に入っているのかをお尋ねします。もう一つ、計画期間が40年という非常に超長期に亘っての計画期間を設定していますが、市役所が持っている計画の中でも、多分一番長い計画期間ではないかと。都市計画のマスタープランがあった様な気がしますが、どうして40年なのか、超長期に計画を設定したのか、考え方についてお尋ねします。

似内会長

3点お願いします。

小原公共施設計画策定室長

ではまず最初に、現在までの地域協議会での意見聴取についてですけれども、地域協議会での意見聴取は、今回が初めてとなります。それから、使用料の見直しについての具体的な施策ということですが、来年度以降の実施計画の中で検討してまいります。施設カルテについてですが、個別の施設カルテにつきましては、白書を作成する段階ですでにカルテを作っております。それから、計画期間の40年についてですが、総務省の指針では、10年以上という事になってございます。私共も何年にすればいいか検討いたしまして、今回のこの策定に当たりましては、アドバイザーとして、岩手県立大学の先生にアドバイスをいただきまして、短すぎず長すぎずで40年ということもございました。それから先程、将来の更新費用が38億円程不足しているという説明をしましたが、この計算については、総務省の無料計算ソフトの試算の設定が40年でした。全国的に行われているものですので、大体40年としているのではないかと思います。将来的に他の自治体さんと比較する場合において、40年としておいた方が有益という事もありまして、40年間といたしました。

板垣武美委員

計画期間の40年という根拠については、了解しました。意見ですが、やはり実感が湧かないのです。考え方は十分分かりましたけれども、40年の超長期で建物もないし、ライフサイクルも多分40年位だと思いますが、そういった事を見据えて40年を打ち出しているのは分かりませんが、長いわけです。自分の年齢に40を足せば、多分生存はしていないだろうと思う訳ですが、その様な考え方は分かりませんが、見える計画としては、少しコンパクトにした方が、より切実感が出るような気がします。これは、私の意見です。

それで、意見を何点か述べさせていただきますが、計画書の22ページに第4章「計画の推進」とあります。どんな計画もそうですが、計画を作って終わりでは困るわけです。むしろ重要なのは、計画をどうやって推進していくかという事で、この資料に全庁的な取組体制の構築とあります。略図の様なものがあります。今おっしゃった県立大の先生方で多分構成される有識者会議というもの、推進体制のイメージの図下段の右側にあります。これですが、この図を見ますと、アドバイザーレポートというか、有識者会議の助言を行う対象が、公共施設マネジメント担当課というスタイルになっていますが、私の意見は、「公共施設マネジメント推進委員会（仮称）」に対して直接助言が出来る様にした方がよろしいのではないかと思います。委員会に対して直接助言を与えた方が、計画が遂行するのではないかと思います。あと、何点か話そうと思いましたが、忘れてしまいましたのでここで一旦切ります。

似内会長

意見でございましたので、何かこれにありましたらお話してください。

小原公共施設計画策定室長

推進委員会への直接の助言に関しましては、ご意見として賜りまして検討させて頂きたいと存じます。それから、その前にありました計画期間 40 年が長いという事ですが、確かにそういう事があるかもしれませんが、先程申し上げました実施計画で、5年サイクルで具体性を持って計画を回して行こうという事も考えてございますので、付け加えさせて頂きます。

似内会長

他にございますか。

八重樫康治委員

先程の説明で、40 ページの所です。将来更新費用として、年間 38 億円程不足というお話しがありましたが、そこには、当然国の補助が入ってくるとは思いますけれども、具体的にこの計画が国や県にどの様な形でオーソライズされているものなのか、もし分かれば教えていただきたいと思います。

小原公共施設計画策定室長

この計画を策定しましたということで、内容を国に報告するといった所までが現時点で決まっているところでございます。

似内会長

八重樫委員さんが今お話ししたとおり、いわゆる起債とかそういうものを起こす時のバックになっているのかも含めて、県あるいは国に対して、市の財政計画のような資料にはならないということですか。

小原公共施設計画策定室長

現在、はっきりしているものとしたしまして、この計画を持った上で、建物を除却するものに関しましては、徐却債という起債が適用されることになっています。

似内会長

八重樫委員さん、よろしいですか。

八重樫康治委員

難しいと思いますけれども、すごい作業をされたと思うので、それが例えば国とか県とかでは、どのいうスタンスでこの計画を取り入れて政策に生かしていくのか、国本来の考えがあるようならお聞きしたいと思ったところです。

似内会長

学校であり道路であり公民館みたいな物を作れば、単独のお金だけでやれるわけではなく起債が必要になってくる。それらの財政計画が果たしてどうなんだと聞かれた時に、それはこうですよと言えるかどうか。市のまちづくり総合計画がそれなのかもしれませんが、その基礎になるのが今回の計画ということで理解するしかないのかなという気がいたします。

あとは、ございませんか。

いずれ形あるものはいつかは作り替えなくてはならない。その時代になれば新しい需要がまた出てくる。しかも日本みたいに人口構成・年齢構成がアンバランス、いびつだと言うことになれば、将来どうしていくかという長期的な計画を作ることが必要になるのではないかなという気がいたします。作成にあたります各担当の方々におかれましては、大変ご苦労様でございます。

ご意見ここで終結させて頂いてよろしいですか。

(はい、という声あり)

はい、ありがとうございます。最初の次第でございました意見聴取「花巻市公共施設マネジメント計画（公共施設等総合管理計画）」につきましては、ここで終了させていただきま

す。担当の課の皆様は退席しますので、ここで暫時休憩とします。どうもありがとうございます。

(休憩)

(2) 花巻市まちづくり総合計画第2期中期プラン素案について

似内会長

それでは、休憩を終りまして会議に入らせてもらいます。意見聴取の(2)「花巻市まちづくり総合計画第2期中期プラン素案について」の説明をお願いいたします。

八重樫総合政策部長より概要説明のあと、伊藤秘書政策課長より主に施策の変更箇所等を中心に各分野の内容について資料に基づき説明

似内会長

ありがとうございます。各委員さん方からご意見ご質問等をお聞きしたいと思います。一人ずつご発言していただければ幸いです。どうぞお出しいただきたいと思

私から質問しておきますが、各施策があって成果指標がありますが、その中の「H28（見込値）」とありますが、これは今年度の見込みとしてこれ位の数字になるということで理解してよろしいですか。

伊藤秘書政策課長

はい、そのとおりでございます。ただし、基本的に平成 28 年度末の見込という数字が分かり得るものは入れておりますが、例えば 63 ページの基本政策 2－1 の「施策 2 自然環境の保全」では平成 28 年度の見込値が入ってないものがございます。こちらにつきましては、出典が市民アンケートという毎年行っているものですが、平成 28 年度末の結果が平成 29 年度の 4 月から 5 月に出すので、市民アンケートを指標にしているものについては、この平成 28 年度の見込値は空欄となっております。その他のもので各担当課がこれくらいの見込みだと分かり得る数字については、見込値ということで載せております。

似内会長

ありがとうございました。見込値が基準値を上回っている、あるいは下回っているものもあるかと思えます。そういう形でローリングを行って第 2 期中期プランの計画を作ったということでございます。ここはこうすべきではないかといったご意見をどうぞ出していただきたいと思えます。

藤澤信悦委員

本当に素晴らしい計画を持っているなど感心いたします。お疲れさまでございます。昨日日曜日はたまたま時間がありましたので丸一日これを見ました。まち・ひと・しごと創生総合戦略とも合わせて見てみたのですが、一日勉強しただけではさっぱり分かりませんでした。目次と体系に関わることと、私は学童クラブに関わっておりますので、その個別のことについて伺いたいですし、かつては教育に携わっておりましたのでそちらの方も伺いたいです。ただ、個別の方は時間がありましたらで結構です。

目次のところですね、先ほど八重樫部長さんから、「第 6 章 主要事業計画」のところは予算の関係で省略したということで、ページ数を書き込んでいないことは分かりましたが、課長さんの説明だと全部の主要事業は各政策に基づいてありますが、これと、省略されているものとどう違うのかというのが疑問ですので、その所をご説明いただきたいと思えます。

それから、18 ページから 19 ページの「まちづくり総合計画の体系」に 5 つの分野、21 の基本政策、72 の施策とありますが、72 の施策のうち横軸といいますか 4 つの重点戦略がありますが、その 4 つのどれにも当てはまるものもあれば一つも当てはまらないものもあるんです。例えば、19 ページの「4 地域づくり分野」の「4－1 地域主体のまちづくり」の施策「2 コミュニティ会議の基盤強化」とありますが、これは私がコミュニティの立場で参加しておりますので関心があったのですが、この施策はどの重点戦略にも当てはまっておりません。どういうことなのか確かめることができれば、私の今日の出席目的の 9 割は達成でございます。その他は時間があったら伺いたします。以上です。

似内会長

繰り返しません。どうぞお答えいただきたいと思います。

伊藤秘書政策課長

それでは、主要事業についてでございます。各施策のところに主要事業が書いておりますが、それと「第6章 主要事業計画」との違いは何かというお話でございます。例えば24ページを開いていただきますと「1-1-1 農業生産の支援」とありますが、この主要事業の右に「掲載ページ」という空欄になっておりますが、ここに来るのが後で追加されます。「第6章 主要事業計画」のページとなっております。「第6章 主要事業計画」には、3年間の計画でどれくらいの事業費をそれに使うかという年度ごとの事業費が掲載されます。24ページの主要事業は、こういうものやっていくという方向性であったり内容が書かれていますが、それぞれの事業について、今現在、平成29年度の当初予算の編成をしている中で、事業費をいくらにするかを決めているところなので、後段の方は記載しておりません。施策の中でこういう事業はやっていきますよという内容は書いておりますが、実際事業費はいくらか、3年間のうち何年度から始めるのか、そこも含めて検討しておりますので、後段の第6章の主要事業計画は載っていないという状況でございます。

八重樫総合政策部長

二点目の地域づくり分野の中のコミュニティ会議の取り組みについて、重点戦略の部分が反映されていないということですが、それについては、いずれ重要な施策ではあるんだけど、特化して4つの戦略のどれかというのと、それぞれに少しずつでも関わっているものと思われしますので、持ち帰らせていただきたいと思います。例えば人口減少対策について、各地域のコミュニティ会議でも総合計画に基づいた形での事業を行っていただいておりますし、福祉分野の方では総合的な介護の包括支援などにも取り組んでいこうとしている地区もございますので、その辺をもう少し吟味させていただいて素案を再度検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

似内会長

他にございますか。

高橋公男委員

本来でありますと私が質問するのもおかしいような気はします。立場上、2、3お伺いをさせていただきたいと思います。まず1点は、先ほど説明がありました53ページ、工業団地産業団地の整備があるわけですが、これは本体の総合計画にもございましたし、中期プランにもずっと入っておりました。平成29年度から毎年2社ずつ企業を誘致するという考え方は全くそのとおりでございますが、だとすればやっぱり団地整備を早くやるべきではないのかなと私は思っております。新しい企業が入るくらいの団地がすでに無くなっているということでございますから、そうすると新規企業の誘致もなかなか難しい面がある。従いましてやっぱり団地整備を早急にやって、そして企業が安心して来れるような状態を作るべきだと思

います。これは具体的な部分ですので、計画を作る総合政策部ではないと思いますけれども、3年間の計画のうち早い段階で団地整備をした方がよろしいのではないかと考えておりますので、その辺はご配慮ください。

それから二つ目は、124 ページ「教育環境の充実」という項目がありますが、前段の7ページには「私立高校の振興に対する支援」「高校以上の修学に対する支援」二つの項目が大項目としてあります。それが124 ページの中の下段「(2) 教育環境の充実」にも私立高校とか県立高校という表現が出てまいります。125 ページの主要事業をみると小学校、中学校だけの事業が出てきます。従いまして、本来は前のほうの項目の中にも、小中学校という言葉が入ってくる項目があってもよろしいのではないかと。例えばさっき言った7ページの教育のところも高校以上の分野だけしか文言が入っていない。本来であれば市の総合計画でありますから、小中学校というものが入ってしかるべきだと考えます。私の意見でございますので、どうしろというものではありませんが、その方がよろしいのではないかと考えております。

もう一点、この前の石鳥谷地域協議会でもいろいろ議論しましたが、石鳥谷の道の駅の整備について前から議論してまいりまして、その中で駐車場の整備を平成29年度からするという話がありました。石鳥谷駅前の駐車場の整備を行うと先ほど説明がありまして、この計画の中にも入っております。石鳥谷とすれば、道の駅の整備関係についてもこの計画の中に項目を出しておいたほうがいいのではないかと。単年度ではできないと思いますので、全体的にやるべきことですから、計画に入れなくてやる方法もあると思いますが、イメージとして私は計画に入れた方がいいという意見でございます。

それから135 ページで東京オリンピックのことがありましたが、田瀬湖はボートの合宿で既に決まっておりますが、更に誘致推進をしていただくのはいいことですが、具体的にアクションを起こしていただきたい。サッカーのキャンプ村とかこの地域にはソフトボール会場がありますが、まだその他にもあると思います。もうすでに誘致を進めたほうがいいのではないかと。新聞紙上などを見ると盛岡とか北上も誘致を進めているようですから、花巻には立派な体育館も二つあるわけですし、思い切ってやれるような競技の誘致を進めたほうが盛り上がるのではないかと。そういうことを踏まえてボート以外の競技についても誘致活動をもうすでに進めていった方がいいのではないかと。これは秘書政策課でやるべきことではないと思いますので、担当課に話をしてすでに動いていただきたいと思えます。以上です。

似内会長

4つほど意見あるいは質問等がありましたが、順次お願いします。

八重樫総合政策部長

4点お聞きしました。それぞれにつきましては、持ち帰って担当課に伝えるもの、あるいは早急に取り組むべきだという強い意見のものは受け止めさせていただきたいと思えます。

中期プランにそれらの考え方を表示した方がいいかどうかについては、一つ一つ再度検証して成案にしていきたいと思っております。一つコメントさせていただくとすれば、企業誘致に関しての団地整備については、高橋委員のご指摘のとおりでございます。用地が不足し

ているというのは課題のところに書いておまして、取り組みについては従来から進めているところがございますけれども、場所の検討をしている中で、農地以外のところであれば比較的容易な部分はあると思いますが、企業の目指してくる一番は交通環境がいい場所ということになりますので、そうしますと現在の花巻市は非常に交通の便で恵まれている立地条件ではありますが、いわゆるインターの周辺というのが農地だということがございます。従いましてそれらを一つずつクリアしていこうと取り組んできておりますが、まだ実現しておりませんので、第2期中期プランにもそれを再度明確にさせていただいた中で推進していこうと考えているところでございます。

それから、教育の関係で主要事業には小中学校の事業が掲載されているが、施策の方向には小中学校という記載がないのではないかとということですが、これについては、市が所掌するものは小中学校ということとして、公立あるいは私立の高校であっても市も支援していくのだということを伝えるために、あえて表示したところですので、表記の仕方について、小中学校と入れるべきかどうかについては検討させていただきますけれども、教育振興のソフト面とハード面の事業については取り組んでいく方向でありますのでご理解をお願いしたいと思います。

道の駅石鳥谷につきましては、石鳥谷地域協議会の皆様にも検討いただいていることは承知しておまして、この計画の中に入れるかどうかについては総合支所の方でも検討してもらいまして、現在この計画には載っておりませんが、石鳥谷総合支所の方では年次計画がまだできていないという話もございますけれども、今日いただいた意見を基にもう一度総合支所とも相談してまいりたいと思います。

それから、東京オリンピックについての具体的なアクションについてのご指摘でございました。東京オリンピックの事前合宿については、すでにご承知だと思いますが、田瀬湖で事前合宿をやるというのは決定しておりますが、これからの取り組みの中で、オリンピック前年、前々年に田瀬湖を使ってさらにボート競技についての合宿をしていただきたいというのは全国のボート協会に要請をしているところでございます。それ以外の競技の合宿についても従来から花巻市では、スポーツコンベンションビューローを立ち上げまして市の体育協会とも一緒になって合宿あるいは大会の誘致に取り組んでいるところでございまして、具体的にはどの競技が合宿をするというのは決まっておりますけれども、スポーツ振興課で動いているという状況でございます。この計画の中に反映させるかどうかにつきましては検討させていただきます。

似内会長

持ち帰りということですがよろしいでしょうか。他にございますか。

板垣武美委員

藤澤委員さんや高橋委員さんのご発言の内容と被りますが、申し上げます。最初に第6章と第7章の説明を今回しない理由について説明がありましたが、予算が決まったら総合計画審議会にかけるというお話でしたが、平成29年度予算のみならず計画期間3カ年分の予算を見越した内容になるというふうに理解しておりましたが、そうしますと毎年度の予算が中期

プランいわゆる総合計画の実施計画を規律するということになるのですか。私は、計画が毎年度の予算を規律していくという考え方でしたので、その辺りの見解をお伺いしたいと思います。

この総合計画の中期プランは、今から4年くらい前に総合計画を作った時にアクションプランは必要ないと説明されたことがあります。毎年度の予算編成の際に時点修正というのを行えばいいのだということをお話されて議論した経緯がありますが、その後紆余曲折がありましたけれども、第1期の中期プランが平成26年度の7月か8月頃までかかって策定されたという経緯がありました。そういうこともあったので、正直に言って少し読みにくい、分かりづらいと思って拝見しておりました。今回基本的に第1期プランのスタイルを踏襲しているわけです。第1期の時はそういう経緯があったからともかくとして、第2期プランはもう少し、さきほど藤澤委員さんがおっしゃっていましたが、なかなか理解しづらい体裁ですので、もう少しその辺りをなんとかしてもらいたいと思います。

そこでもう一つありますが、地域コミュニティの部分の記載が少し薄いのではないかと趣旨のご発言がありました。私も同感です。少子高齢化や花巻市における環境変化とか危機意識は私も思っておりますが、やっぱり地域コミュニティをこれから維持していくことについての懸念、不安というものをもう少し強く出すべきだろうと私は強く思っております。大袈裟な話になりますが、基本政策あるいは施策の中に、地域コミュニティの維持とか、私とすれば地域自治区の振興という柱を立ててほしいのですけれど、もう少し強く地域コミュニティを意識した基本政策あるいは重点戦略というような扱いをお願いしたいと思います。

高橋委員さんも先ほど発言されましたが、石鳥谷地域には南部杜氏の里づくりの推進という課題があります。それに関する事項が中期プランのどこにも見当たらないような気がいたしました。これについては先ほど部長からご説明いただきましたけれども、ご検討をお願いしたいと思います。

あと何点か申し上げますが、課長からは新規の施策についてお話しいただきましたが、第2期の中期プランから新規で取り込まれる施策とか、あるいは廃止や見直しとかした事業については、一覧表で一目瞭然となるような説明がほしいと思います。

私は、今日の会議のために去年作成した「花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をもう一回読んできたのですが、総合戦略は案外分かりやすく入ってきました。なぜ中期プランと違うのかと考えたのですが、中期プランの重点戦略と総合戦略の基本目標とか重点方針というのが似通っているようでちょっと違うようです。総合戦略と中期プランと、そして市建設計画などの関連する計画との関連性が分かるような記載がほしいと思います。ざっくり言えば中期プランのような整理の仕方をしたほうが分かりやすいのではないかと思います。

最後になりますが、先ほどの公共施設の計画の時にも申しましたが、計画は成果を重視していかなくてはならないと思いますので、そのためにどうやって効果的に効率的に執行していくかという自治体経営の品質の問題なのだろうと思います。そのことに触れているのが第5章の行政経営の部分ですけれども、ここが他市の実施計画と比較すると案外薄いです。もう少しご検討いただきたいと思いますが、ここで具体的なことを申し上げると長くなりますので、以上です。

似内会長

八重樫部長さん、どうぞ。

八重樫総合政策部長

6点ほどと捉えましたけれども、落ちていましたら板垣委員さんにご指摘いただきたいと思います。

まず、第6章のお話を今回できなかつたわけですけれども、主要事業計画は事業ごとに平成29年度から31年度までの事業費を示しております。まだ予算編成の途中で現在議論をしているところで、施策の方向性は資料の中で示しておりますけれども、3年分の事業費のうち各年の事業費をどうするか決まっていなくて、今回お話しすることができませんでした。本来であればこの中期プランは予算編成の前に策定し、ある程度目安となる事業費を想定したうえで新年度の予算編成を行うということが一つの方法だと思いますが、秘書政策課が担当ではありますが全庁的に取り組ませていただいております。今回はより市民の方々の意見を聞きたいということで、素案を作る段階の前にワークショップを開催したために予定が遅れましたことをお詫びしつつご理解をいただきたいと思います。

地域コミュニティに関する記載について、少し薄いのではないかとご指摘だったと思いますけれども、まだまだ素案を見直す時間はございますので、お聞かせいただけるのであれば、板垣委員さんから後でお話しいただければ有難いと思っております。コミュニティを維持するということは、人口減少時代においてとても大事なことでというのは、その通りだと思います。ただ今回、政策あるいは施策については当初の長期ビジョンの中で定めたものに対して作り込んでいこうということですので、それを明確にするかどうかについてはさらにご意見をいただければ検討していきたいと考えます。

それから、南部杜氏の里づくりの推進について計画に載っていないというご指摘ですが、これについてはご意見としてお伺いしたいと思います。

資料提示として第1期中期プランで廃止した事業あるいは第2期中期プランで新規事業として目指していくものを一覧でお示しできればよかったのでしょうかけれども、今回そこまで至らずに会議でご意見をいただくということになってしまいました。それらの事業の整理をした表を後でお示しできればよろしいのでしょうかけれども、年度内に計画を完成させる作業がありますので、そこまで職員の作業が追い付かないのでご容赦いただければと思います。

総合戦略は非常に分かりやすいというご意見をいただきました。新市建設計画の話もありましたが、花巻市においてそれぞれの計画はある意味財源を確保する計画という位置付けもございます。新市建設計画があることによって合併効果が発揮できる優位な制度ですので、合併特例債を使うための計画と考えておりますし、総合戦略については、全国を挙げて進めております地方創生の施策についての新たな取り組みに対する交付金の制度がございます。根幹にあるのはまちづくり総合計画であり第2期中期プランであると思っております。ワークショップ等でご意見をいただいているところでございます。もう少し分かりやすくということですが、まずはこれで作らせていただきたいと思っております。

それから、行政経営の分野で少し希薄ではないかとご指摘ございました。これを作るにあたって例えば盛岡市の総合計画・実施計画を私も拝見させていただきました。確かに

板垣委員がご指摘のような分かりやすさもありませんでしたが、参考にできるところについてはこれから見直しをする中で参考にしたいと思っております。

以上、お答えさせていただきます。

似内会長

できれば一覧表までは必要ないと思いますが、新規に追加したものや数値を変えたものについては色を変えて見やすくするとか、そういう配慮があればここが伸びてきているとか、ここは足りないから地域協議会として意見した方がいいとか、前と比べて違いが分かりやすくなると思います。新旧の一覧表までは必要ないと思いますので、この計画の中で色分けしていただければよろしいのかなと私自身も感じました。

あとはどなたかございますか。

藤澤信悦委員

回答はいりません。担当に持ち帰って検討していただければと思います。4つあります。

一つは112ページに学童クラブのことが書いてありますが、八幡学童クラブに限って言いますと、「施策の方向（3）地域における子育て支援の推進」の四つ目に「学童クラブの安定的な運営支援」とありますが、これを是非お願いしたいと思います。職員と話をしておりますと、国家資格の取得をしたいのだけれども、なかなかできないと。彼らのプライドにかかりますので、取得の機会があるのですから、それを保障していただきたい。そのことによって社会的な認知度が向上してくるだろうと思いますので、是非お願いします。それから社会保険の加入の促進について、加入している保険がばらばらなので検討していただきたい。もう一つ、保育所や小学校と必要に応じて交流をしておりますけれども、定期的に計画化していただければ彼らのプライドを満足させてあげることができるのではないかと思います。施設設備はきちんと作っていただいておりますので、安定的な運営支援という中でプライドに関わることにについてはきちんとやっていただきたいと思います。

第2点は学校教育と生涯学習の関係性ですが、これは昭和58年あたりから文部科学省では生涯学習と初等中等教育にかなり力を入れて言っておりますが、生涯学習は学校教育の基盤の上に展開されるものであるというのが一番初めにあります。ところがこの計画を見ると学校教育は学校教育、生涯学習は生涯学習ということで文部科学省が言っている関連性がこの表現では感じられないと思います。これも持ち帰って検討していただきたいということです。

第3点は、八幡まちづくり協議会として携わっているわけですが、地域おこし協力隊のことについて149ページにあります。八幡では大変素晴らしい活用をさせていただきました。どういったことをやったかという、年度の反省の場に参加していただきまして、教授とか役重さん、協力隊の方の3名でしたけれども、教授とか役重さんに勝るとも劣らない非常に素晴らしい感想がありまして非常に参考になりましたので、八幡では活用したいと思うので、この事業を是非続けていただきたい。

150ページですけれども、昨日コミュニティ会議研修会を行いました。今年度3回行いましたけれども、どれに参加しても非常に素晴らしい内容だったと思います。150ページの主要事業の中に、コミュニティ会議の研修会と対話に基づくコミュニティづくり、地域おこし

と申しますか、そういった事業、ワークショップという拒否反応を起こされますので、対話を大切にされた事業というのがあってもいいのではないかと。役重さんの講習も受けましたし、静岡県や青森県の方の話も聞きまして非常に良かったので、これを土曜日ではなく平日にさせていただけるとうちの職員にも参加させやすいのかなと思っております。

以上4点です。回答はいりません。

似内会長

回答は必要ないということですので、お持ち帰りいただきたいと思います。

まだまだご意見を述べたいという方もあろうかと思いますが。ワークショップとか他のところから意見を聞くなどまだ行われるようですが、地域協議会からの意見聴取というのは今回限りということでございます。あと一点か二点くらいどなたかありましたらお願いしたいと思いますが、よろしいですか。

(発言なし)

それでは以上をもちまして、意見聴取の二番目「花巻市まちづくり総合計画第2期中期プラン素案について」は以上で終了させていただきます。

5分ほど休憩させていただきます。

(休憩)

4 諮 問

似内会長

それでは休憩前に引き続きまして進めさせていただきます。

諮問事項でございます。課長さんよろしく願いいたします。

菅原地域振興課長

それではここで「辺地総合整備計画」について、花巻市長の代理として、八重樫総合政策部長から石鳥谷地域協議会似内会長に諮問を行います。よろしく願いいたします。

八重樫総合政策部長

花巻市長に代わりまして、この度、辺地総合整備計画の策定につきまして、花巻市地域自治区設置条例第8条第2項の規定に基づき、花巻市石鳥谷地域協議会の意見を求めますのでよろしく願いいたします。

(八重樫総合政策部長から似内会長へ諮問書が手渡される)

5 説 明

似内会長

それでは、花巻市長から諮問書をいただきました「辺地総合整備計画」につきまして、ご説明をお願いいたします。

資料に基づき説明（説明者：伊藤秘書政策課長）

伊藤秘書政策課長

説明は以上で終わりますが、本計画につきましてご審議いただきまして、策定すべきとの答申をいただきましたならば、本年3月開会予定の平成29年第1回花巻市議会定例会にこの計画を上程する予定としております。

似内会長

ありがとうございました。ご質問がありましたらお願いします。

熊谷秀夫委員

事業計画期間は平成29年度から33年度の5年間ですが、事業一覧の右欄「事業開始」を見ますと、H29からH31という数字が載っております。私は大瀬川地区ですけれども、改めて平成30年度に計画書を策定するというのでしょうか。

伊藤秘書政策課長

お答えいたします。事業開始の今のところの予定でございますが、例えば大瀬川は平成30年度に事業開始見込みでございます。この事業を平成30年度に行うにあたり、辺地債を活用しようと思込まれた場合には、その時点で計画の策定をさせていただきたいと存じます。

付け加えさせていただきますと、例えば、大瀬川が平成30年度に計画を策定すると、そこから5年間の計画となります。

似内会長

例えば大瀬川の計画が策定される場合、また諮問があるのですか。今回で終わりですか。

伊藤秘書政策課長

この総合整備計画は、辺地ごとでございますので、大瀬川に計画策定の必要が生じた場合は、また石鳥谷地域協議会に諮問させていただきます。

似内会長

分かりました。他にご質問ございますか。

佐藤芳彰委員

資料の辺地対策事業一覧の⑤に「滝田（滝田，五大堂）」事業開始が平成29年とありますが、計画書（案）の1ページの「2 公共的施設の整備を必要とする事情」の一番下の「老朽化が著しい消防屯所及び小型動力ポンプを更新する」と書いておりますけれども、私は八重畑地区なものですから、辺地の中心の位置が滝田第10地割と書いておりますけれども、具体的には花巻市の行政区からいって何区になるのか教えていただきたい。ポンプと屯所はこの区のものをごどうするのか聞きたいのでお願いします。

伊藤秘書政策課長

滝田という辺地でございますが、総合整備計画書の案に、構成する字は滝田と五大堂、この二つの字を一つの辺地として計画してございます。中心の位置はこの二つの字の中で固定資産税の単価が一番高いところとなっております、資料に記載しております滝田第10地割26番地3という所でございます。計画上、平成29年度には小型動力ポンプの更新を予定しております。また、計画期間内の平成31年度頃を目途としておりますが、消防屯所の更新を計画しております。

八重樫総合政策部長

補足いたします。事前配布いたしております図面をご覧くださいと思います。細かい図面ですが、南滝田のバス停のあたりに赤い丸がありますが、これが中心の位置と捉えたいので、五大堂まで包含するという事でございます。消防団施設整備事業というのは、16分団第1部のいわゆる五大堂屯所の整備を計画しているということでございます。

佐藤芳彰委員

実は私は八重畑7区の行政区におりますけれども、花巻市と色々な折衝をして、早ければ平成29年度に屯所の更新が図れるということで、今土地についても進んでおりますけれども、せっかくの機会ですから、平成29年度の事業であれば、その確たる場所がどこなのか教えていただきたい。すでに土地の所有者には無償提供という話まで進んでおまして、この計画はその話かと思いましたが、五大堂にも屯所はいくつかありますし、八重畑7区には猪鼻、八重畑、五大堂という住所もあるわけです。私は消防団員ではありませんが、その地区の自治会長を務めている関係で推進委員長をしておまして、できることは進めたいと考えておりますので、今日具体的に説明をいただけるのであれば、お願いしたい。私たちの進めているものがこの計画に該当するという事であれば、そういう考え方で近々の会議で皆様方にも説明したいなと思っております。

八重樫総合政策部長

佐藤委員さんご質問の、地元で今用地等の準備を始めていらっしゃるということでございますが、この辺地総合整備計画の土地は16分団第1部を想定しておまして、16分団には第1部が西五大堂で第2部が東中島ですし、第3部は山屋で第4部が滝田です。佐藤委員さんがおっしゃったのは第2部の東中島ではないかと思いますが、この辺地総合整備計画では

計画期間が平成 29 年度から 5 年間で、その中で整備を行うということなので、平成 29 年度に屯所を整備するかどうかについては今予算編成をしているところなので、まだ確定していないということです。消防本部から出されている計画によれば、まず最初に小型動力ポンプの更新をしなければならないということは聞いておりますので、屯所の件については、今日の時点では未決定ということでご理解いただきたいと思います。

似内会長

辺地債を借りるための計画を作るのであって、他の消防屯所を作るとか辺地に該当しないような所とか消防本部の消防自動車の導入などはこの計画とは違うということですね。

伊藤秘書政策課長

全くそのとおりでございまして、この区域で整備する計画があれば辺地債を使うために計画を作るということでございます。辺地区域ではない所に消防施設を整備する計画がある場合は、この計画ではなく別なもので進めるということでございます。

似内会長

他にご質問ございませんか。

無ければ、ご質問の部分につきましては閉じさせていただきます、このあと審議することになりますが、その前に部長さん課長さん方に退席をお願いしたいと思います。大変ありがとうございました。

(八重樫総合政策部長ほか秘書政策課職員が退席)

6 審 議

似内会長

それでは答申するにあたりまして、各委員さん方よりご意見を頂戴したいと思います。どなたかご意見ございますか。

(発言なし)

意見なしということで、審議は終了させていただきます。修正なしということで原案のとおり決定することといたします。ありがとうございました。

答申文につきましては、会長である私にご一任いただけますでしょうか。

(異議なしの声あり)

それでは、辺地総合整備計画の策定についての答申につきましては、意見なしということで答申をさせていただきたいと思います。答申した文書につきましては各委員さん方に後日送付したいと思いますので、よろしく申し上げます。

以上をもちまして協議、意見聴取等は終了させていただきます。

7 その他

似内会長

「その他」に入ります。総合支所のほうで何かございますか。

菅原地域振興課長

特にございません。

似内会長

委員さん方からございますか。

(無し、の声あり)

無しということでございます。

今のところの予定として、平成 28 年度中に石鳥谷地域協議会の開催予定はありますか。

菅原地域振興課長

公共交通の関係で地域協議会を開催してほしいという話は聞いておりますが、具体的な依頼はまだ来ておりません。正式に依頼がございましたら第 4 回の地域協議会を開催させていただくこととなりますので、よろしく申し上げます。

似内会長

分かりました。今日は 1 月の末でございますので、2 月から 3 月のうちにもう 1 回開催する予定だということでございます。そのうち連絡があると思いますので、よろしく申し上げます。

8 閉 会

似内会長

それでは以上をもちまして、平成 28 年度花巻市石鳥谷地域協議会第 3 回会議を終了いたします。時間が長くなってしまいました。ありがとうございました。

菅原地域振興課長

皆様大変ありがとうございました。